

新しい看護の世界へようこそ！ 2023年4月4日入学 第37期生(第1学年)

新任教員 紹介



小児看護学担当
大堂 順子先生



実習指導担当
杉戸 久美先生



◆クラスの印象は？

明るくてとっても元気なクラスです(*'ω'*)
みんなが意欲的に取り組む姿をみて、「自分も頑張ろう！」
と思えます。お互い助け合って、テストや課題を乗り越えています。
技術演習も始まりましたが、最後の片付けまで協力的で視野の広い
クラスメイトにいつも助けられています。

◆クラスでやってみたいことは？

スポーツ大会やレクリエーションで楽しみたいです。

◇学生と共に学ぶ姿勢
で、笑顔を大切に指導
したいと思います。よ
ろしくをお願いします。

◇症状のメカニズムを理
解した上で、適切な看護
ケアの提供について一緒
に考えていきましょう。

第2学年 灯火のリレー



演習風景



二次救命処置 人工呼吸



静脈内採血

【基礎看護学Ⅱ期実習に向けて思うことは？】

- ◆基礎看護学Ⅰ期実習で学んだことを活かして、より良い看護を
提供できるように頑張りたいです。
- ◆患者さんに寄り添って看護ができるか心配です。
- ◆不安が大きいけど先輩たちの意思を受けて一生懸命がんばります。
- 【演習の授業はどんな感じ？】
- ◆静脈内採血で初めて針を扱ったとき緊張して手が震えました。
- ◆血管を見つけてしっかりと血管に刺入するのが難しいです。
- ◆演習での学びはたくさんあり、やっていて楽しいです。

第3学年は、より専門的な臨地実習で日々頑張っています！

これまでに学んだ基礎看護学Ⅰ期・Ⅱ期、領域実習の体験をさいてみました。

◆基礎看護学Ⅰ期実習では、はじめての実習のため不安でいっぱいでした。しかし、それを乗り越えて基
礎看護学Ⅱ期実習や領域実習では、グループメンバーと協力し合い、知識の共有や技術が向上していま
した。患者さんとのコミュニケーションや関わりで困ることはありますが、どのようにお話しするか、ど
のような看護介入をしていくか考え、実践することでやりがいを得ることができました。

◆認知機能の低下がある対象とのコミュニケーションはとても難しく感じました。自分が伝えたいことが
伝わらなかったり相手の思いが汲み取れないことが多く、苦戦しました。しかし、言葉を交わすことだけ
がコミュニケーションではなく、タッチングやそばに寄り添うことも対象とのコミュニケーションになる
ことを学びました。

◆終末期の実習では、患者さんとのコミュニケーションに難しさを感じましたが、スピリチュアルペイン
を持った患者さんに対して、タッチングや不安への傾聴など学内で学んだ知識を実際に活かすことがで
きたのが良かったと思います。慢性期では、初めて指導を行いました。教材の作成など大変な部分は多くあ
りましたが、自分が指導することで患者さんの意識や行動が変化していくことが嬉しく、指導していくこ
とも楽しさを感じました。



主な行事日程



- 3日 始業式
- 4日 2023年度入学式
- 20日 2年生灯火のリレー
- 28日 交流会「明治村」



- 2日 1年生マナー講座
- 9日 3年生臨地実習開始
- 19日 防火訓練
- 24日 2,3年生保健所実習



イベントの少ない時期ですが
試験、演習、模試（国家試験
対策）など多忙な月に...
体調管理も万全に！

勉強方法や学校生活の不安など、先輩
に話を聞くことができました。
交流会担当で企画は大変でしたが
協力し合って楽しかったです。

